

2023年3月期 連結決算概要

2023年4月27日

株式会社プロテリアル

- ✓2023年1月4日に日立金属株式会社は株式会社プロテリアル(以下、当社)に社名変更しました。
- ✓当社は、Bain Capitalが軸となる企業コンソーシアムが全株式を所有する株式会社BCJ-52 による当社普通株式に対する公開買付およびその成立後の一連の取引を通じて、2023年1月5日に株式会社BCJ-52 の完全子会社となりました。
- ✓本資料に掲載した決算数値は、当社を頂点として連結した数値です(BCJ-52を含まず)。

1. 業績概要①

金額単位: 億円 (斜体文字は利益率)	2021年度 通期(A)		2022年度 1Q(4-6月)		2022年度 2Q(7-9月)		2022年度 3Q(10-12月)		2022年度 4Q(1-3月)		2022年度 通期(B)		前年度比 (B/A-1)×100[%] またはB-A
		1\$=112円 1€=131円 1元=17.5円		1\$=130円 1€=138円 1元=19.6円		1\$=138円 1€=139円 1元=20.2円		1\$=142円 1€=144円 1元=19.9円		1\$=132円 1€=142円 1元=19.3円		1\$=135円 1€=141円 1元=19.8円	
売上収益		9,427		2,768		2,919		2,790		2,712		11,189	+19%
調整後営業利益*	2.8%	268	4.3%	118	4.6%	133	3.9%	109	4.8%	131	4.4%	491	+223
IFRS営業利益	2.8%	267	3.5%	98	3.9%	114	2.7%	76	3.7%	100	3.5%	388	+121
税引前当期利益		327		199		185		△34		83		433	+106
親会社株主に 帰属する当期利益		120		151		142		△13		△47		233	+113

*:調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

■地域別売上高

金額単位: 億円		日本	北米	中国	その他アジア	欧州	その他	海外合計
2021年度	売上収益	4,022	2,744	857	1,192	423	189	5,405
	売上比率	43%	29%	9%	13%	4%	2%	57%
2022年度	売上収益	4,300	3,758	916	1,394	574	247	6,889
	売上比率	38%	35%	8%	12%	5%	2%	62%
売上収益 前年同期比		+7%	+37%	+7%	+17%	+36%	+31%	+27%

2. 業績概況②

金額単位:億円 (斜体文字は利益率)		2021年度	2022年度	前年度比	
		通期(A)	通期(B)	(B/A-1)×100[%] またはB-A	
金属材料	特殊鋼製品	売上収益	2,618	2,880	+10%
		調整後営業利益	6.5% 171	8.6% 249	+78
		IFRS営業利益	6.1% 159	8.6% 247	+88
	素形材製品	売上収益	3,140	4,160	+32%
		調整後営業利益	△3.1% △96	1.3% 54	+150
		IFRS営業利益	△3.6% △113	1.1% 44	+157
	小計*	売上収益	5,758	7,040	+22%
		調整後営業利益	1.3% 75	4.3% 303	+228
		IFRS営業利益	0.8% 46	4.1% 291	+245
機能部材	磁性材料・ パワー エレクトロニクス	売上収益	1,362	1,574	+16%
		調整後営業利益	9.4% 128	8.1% 127	△1
		IFRS営業利益	9.5% 129	6.9% 109	△20
	電線材料	売上収益	2,302	2,577	+12%
		調整後営業利益	2.3% 52	1.4% 37	△15
		IFRS営業利益	1.6% 37	0.9% 24	△13
	小計*	売上収益	3,664	4,151	+13%
		調整後営業利益	4.9% 180	4.0% 164	△16
		IFRS営業利益	4.5% 166	3.2% 133	△33
その他・調整額	売上収益	5	△2	-	
	調整後営業利益	13	24	+11	
	IFRS営業利益	55	△36	△91	
合計	売上収益	9,427	11,189	+19%	
	調整後営業利益	2.8% 268	4.4% 491	+223	
	IFRS営業利益	2.8% 267	3.5% 388	+121	

【売上収益】

- ✓需要(重量等)は特殊鋼、希土類磁石・フェライト磁石等で減少したものの、自動車铸件やパワーエレクトロニクスが増加しました。
- ✓原材料価格上昇(価格スライド制)や円安が増収要因となり、全セグメントで売上収益は増加しました。その結果、前年度比19%増の1兆1,189億円となりました。

【調整後営業利益】

- ✓原材料価格・エネルギーコストの高騰に加え、物流費の増加がありましたが、各種コスト削減施策の推進、販売価格の改定、円安による利益増加等があり、前年度比223億円増の491億円となりました。
- ✓セグメント別では、特殊鋼製品、素形材製品が増加しました。磁性材料・パワーエレクトロニクス製品はほぼ横ばいとなりました。電線材料セグメントでは、自動車部品の生産性低迷等により減少しました。

*:セグメント間相殺前の単純合計値

3. 財政状態

金額単位: 億円	2021年度末 1\$=122円 1€=137円 1元=19.3円	2022年度末 1\$=134円 1€=146円 1元=19.4円	増減
資産合計	10,697	10,646	△51
売上債権	1,873	2,063	+190
棚卸資産	2,284	2,459	+175
固定資産	4,496	4,504	+8
負債合計	5,386	8,683	+3,297
有利子負債	1,969	3,842	+1,873
親会社株主持分	5,276	1,963	△3,313
非支配持分	35	34	△1
親会社株主持分比率	49.3%	18.4%	△30.9pt
D/Eレシオ(倍)	0.37	1.96	+1.59
NET有利子負債*	723	3,080	+2,357

*: NET有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物

4. キャッシュ・フロー

金額単位:億円	2021年度	2022年度	前年度比
営業活動に関するキャッシュ・フロー（営業CF）	299	440	+141
投資活動に関するキャッシュ・フロー（投資CF）	△64	△306	△242
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	235	134	△101

営業CF：運転資金の改善および当期利益の増加等により、前年度比+141億円。

投資CF：2021年度は資産売却収入があったこと等もあり、前年度比△242億円。

✓変革と成長の加速をめざし組織体制を強化

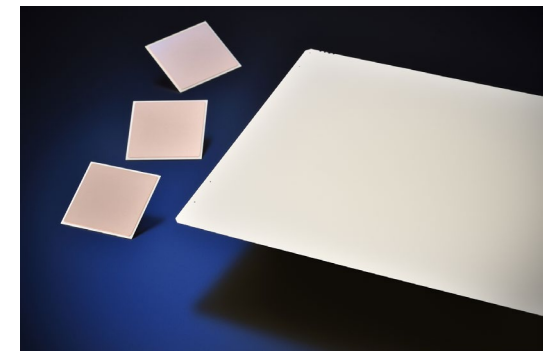
2023年4月1日付で組織体制を強化しました。各事業をCEOが直轄する事業部制の組織とすることで、より機動的な事業運営をめざします。また、技術開発本部を再編し、モノづくり技術本部と研究開発本部を設置しました。この組織体制強化により、当社の競争力の源泉となるオペレーショナル・エクセレンス(世界トップ水準の組織運営)、すなわちプロテリアル・オペレーティング・システムをグローバルで構築し、変革と成長を加速します。

ご参考:2023年3月8日公表「2023年4月1日付組織体制について」

<https://www.proterial.com/press/2023/pdf/20230308jp.pdf>

✓xEVパワー半導体用窒化ケイ素基板を増産

窒化ケイ素(Si_3N_4)基板の増産投資を株式会社プロテリアルフェライト電子内にて行っています。窒化ケイ素基板は、xEV等でモーターの制御や電力変換を行うパワー半導体の基板として使用される重要部材として需要が急拡大しており、今後の継続的な成長が見込まれます。増産投資による窒化ケイ素基板の売り上げ拡大を通じて、脱炭素社会実現への貢献をめざします。



窒化ケイ素基板

PROTERIAL
